

第1問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 前221年、中国を統一した秦王政は、それまでの王にかわる新たな君主の称号として皇帝号を採用し、中央集権体制をしいた。始皇帝は対外的には北方の匈奴と戦い、長城を修築してその侵入を防いだが、急激な改革や度重なる外征は諸侯や農民の反発をまねき、秦の統一は15年で崩壊することとなる。秦の統一は短期間に終わったが、中国が初めて統一を志向したことはその後の諸王朝に大きな影響を与えた。

秦末の動乱の中で台頭した農民出身の劉邦が建てた漢王朝もその一つである。劉邦(高祖)は直轄地では秦で実施されていた **ア** を受け継ぎ、東方では一族や功臣を諸侯王として支配を任せる封建制を併用する **イ** を採用した。その後、漢は諸侯王の勢力を少しずつ削減し、武帝の時代には実質的に中央集権体制を確立することに成功した。しかし、武帝の死後、幼帝が続き、外戚や宦官が政治の実権を握るようになった。こうした中で、8年には外戚の王莽が帝位を奪って新を建てたのである。王莽は周代を理想としたが、その非現実的な改革は社会に混乱をもたらし、まもなく農民や豪族の反乱が起こって新は滅亡した。

25年になると、反乱軍を指導していた漢の一族の劉秀が、豪族の援助をえて漢を再興した。後漢の時代は東西交流が盛んで、インドから仏教も伝来し、ローマ帝国の使節も来訪した。しかし、後漢においてもまた外戚と宦官が権力争いを繰り返し、これを批判する官僚や知識人が弾圧され、政治が乱れた。2世紀末には太平道を主体とした黄巾の乱が起こり、これを機に中国は群雄割拠の状態に陥ったのである。

問1 下線部 a に関連して、始皇帝の中央集権化政策について述べた次の文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

1

I 始皇帝は半両銭を発行し、^{ふんしよ}焚書・^{こうじゆ}坑儒によって思想を統制するなど、様々な統一政策を打ち出した。

II 始皇帝の死後、厳しい支配政策への反発から「王侯将相いづくんぞ種あらんや」の言葉で知られる^{せきび}赤眉の乱が起こった。

- ① I - 正 II - 正 ② I - 正 II - 誤
③ I - 誤 II - 正 ④ I - 誤 II - 誤

問2 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

2

- ① ア - 州県制 イ - 郡県制
② ア - 州県制 イ - 郡国制
③ ア - 郡県制 イ - 州県制
④ ア - 郡県制 イ - 郡国制
⑤ ア - 郡国制 イ - 州県制
⑥ ア - 郡国制 イ - 郡県制

問3 下線部 b に関連して、武帝の実施した政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① ^{とうちゆうじよ}董仲舒の建言を受けて儒学を官学とし、国家体制の維持に努めた。
② 地方長官の推薦によって人材を登用する郷挙里選を実施した。
③ 塩・鉄の専売、物資の流通や物価を統制する均輸・平準を実施した。
④ 匈奴の挟撃を計画し、その交渉のために班超を大月氏に派遣した。

問4 下線部cに関する次の史料の空欄 **ウ** と **エ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、史料の説明を参考に、下の①～④のうちから一つ選べ。

4

【史料】『後漢書』西域伝

其の王、常に使いを漢に通ぜんと欲す。而れども **ウ** は漢の
繪綵（色そうさいのついた絹）を以て之れと交市せんと欲し、故に遮闔（交通
を遮断）して自ら達するを得みづかざらしむ。桓帝の延熹九年（一六六年）
に至るや、大秦王安敦、使を遣わし、**エ** の徼外きょうがいよ自り象牙・犀
角・瑇瑁（うみがめ）を献じ、始めて乃ち一たび通ず。

（歴史学研究会編『世界史史料3』一部改変）

【説明】

ウ はセレウコス朝から自立した遊牧イラン人が建てたパルティアの中国名が当てはまる。この国は漢との絹の取引を独占するために、交通を遮断し、ローマの使者が漢に到達しないようにしていたと記されている。

エ は武帝が南越を征服してベトナム中部に設置した郡が当てはまる。ローマの使者はこの郡に到着し、漢に象牙などを献上したと記されている。

- ① **ウ**－安息 **エ**－楽浪らくろう
② **ウ**－安息 **エ**－日南
③ **ウ**－大宛だいえん **エ**－楽浪
④ **ウ**－大宛 **エ**－日南

B 黄巾の乱以降、後漢の権威が失墜し、中国は魏晋南北朝時代と呼ばれる長い分裂期にはいった。220年に曹丕が後漢の皇帝位を譲り受けて華北で魏を建てると、四川では蜀、江南では呉がおこり、中国を三分する形勢となる。その後、魏は蜀を滅ぼすが、やがて魏の将軍司馬炎が帝位を奪って晋(西晋)を建てた。280年に晋は呉を滅ぼし、ついに中国の統一に成功したが、この統一は長くは続かなかった。晋の国内が混乱すると、これに乗じて五胡が勢力をのぼして蜂起し、晋を滅ぼしたのである。華北は再び分裂状態に陥ったが、司馬氏一族は江南に逃れ、317年に東晋を建てた。やがて東晋の武将劉裕が帝位を奪い、宋を建てると、江南には短命な王朝が続いた。この宋・齊・梁・陳の4王朝を南朝と呼び、東晋や南朝には華北の戦乱を逃れて移住する人が後を絶たなかったため、この時代は江南の開発が進むこととなった。一方、華北では、**オ**の拓跋氏が建てた北魏が台頭し、439年には華北を統一した。都を平城から洛陽に移し、社会の安定につとめる北魏の**カ**は、土地制度などを整えたが、こうした政策に反発した軍人が反乱を起こし、北魏は東西に分裂した。その後、西魏は北周に、東魏は北齊に滅ぼされ、最終的に北齊は北周に併合され、これら北魏から北周までの5王朝を北朝と呼ぶ。

魏晋南北朝時代は政治的には混乱の時代であったが、文化的には多様な思想が育まれ、特に江南では六朝文化と呼ばれる貴族文化が開花した。

問5 下線部dについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 晋では司馬炎(武帝)の死後、帝位をめぐる八王の乱が起こった。
- ② 晋が滅亡すると江南に逃れた司馬光が、建康を都に東晋を建てた。
- ③ 晋の時代には儒教思想に基づく議論を行う清談が流行した。
- ④ 晋では官吏登用制度として九品中正が創始されたが、有力豪族が高級官職を独占した。

問6 文章中の空欄 **オ** と **カ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① オ－羯 カ－孝文帝
- ② オ－羯 カ－太武帝
- ③ オ－鮮卑 カ－孝文帝
- ④ オ－鮮卑 カ－太武帝

問7 下線部 e に関する次の史料を読み、この史料について述べた文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

【史料X】『魏書』食貨志

(太和)九年(四八五年)、詔を下して均しく天下の民に田を給す。
諸そ男夫十五以上は、露田四十畝を受く、婦人は二十畝、奴婢は良に依る。

(歴史学研究会編『世界史史料3』一部改変)

【史料Y】『二十二史劄記』

帝は朝臣を引見するに、詔して北語を断ち、一に正音に従わしむ。
年三十以上は習性已に久しく、或いは革むべからざるも、三十以下の見に(現に)朝(朝廷)に在るの人の語言は、旧に仍るを許さず、違う者は居る所の官を免ず。又た詔して衣服の制を革む。

(歴史学研究会編『世界史史料3』一部改変)

I 史料Xは、北魏で創始された屯田制について述べており、この制度は隋や唐にも引き継がれた。

II 史料Yでは、北魏の皇帝が漢民族に対して旧来の言語や服装を認めず、北方民族特有の言語や服装に改めるよう命じたと述べられている。

- ① I - 正 II - 正
- ② I - 正 II - 誤
- ③ I - 誤 II - 正
- ④ I - 誤 II - 誤

問8 下線部 f について述べた次の文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

8

I 東晋では後世に「画聖」とたたえられる王羲之おうぎしが「女史箴図」じょししんずなど優れた作品を残した。

II 東晋の僧である法顕ほっけんはグプタ朝統治下のインドを訪れ、『仏国記』を著した。

① I - 正 II - 正

② I - 正 II - 誤

③ I - 誤 II - 正

④ I - 誤 II - 誤

第2問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 10世紀から14世紀にかけての西ヨーロッパは、大きな変動と成長、そして危機の時代であった。「中世温暖期」と呼ばれる気候の安定と温暖化の影響もあり、農業生産力が向上し、西ヨーロッパ封建社会は成熟期を迎えた。それにとともに、人口も飛躍的に増加したため、新たな居住地や農地などを求める様々な活動が見られるようになった。^{a)}

11世紀末、ローマ教会の権威の高まりのなかで、教皇とドイツ国王(神聖ローマ皇帝)との間で叙任権闘争が繰り広げられていたが、この時期と並行して十字軍運動も展開した。^{b)} 教皇ウルバヌス2世の呼びかけにより開始された十字軍運動は、聖地エルサレムの奪還を提唱して始まったが、その背景にあったのは、教皇の東西教会統一、新たな領土や戦利品の獲得、商人の経済的利益など様々な野心や欲望であった。聖地奪還には成功しなかったが、十字軍は結果的に地中海商業圏の遠隔地貿易を活発化させ、北海・バルト海交易圏や内陸部とも結びついて、ヨーロッパの都市や商業の発展を促した。^{c)}

また、十字軍は諸侯や騎士の没落ととともに、遠征を指揮した国王の権威を高める結果ももたらした。各国の王は、課税などを要請するため身分制議会を開き、各身分との話し合いを通じて国内の統一をはかった。例えばフランスでは、当初弱体であったカペー朝の王権が王領の拡大とともに高まりつつあったが、1302年に身分制議会である全国三部会^{d)}を開催して国内世論の支持を得たことで、王権の基盤のさらなる強化に成功した。

問1 下線部a)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① ドミニコ修道会などの托鉢修道会が中心となって大開墾運動がおこなわれた。
- ② オランダでは、風車で海水をくみ出して干拓がおこなわれた。
- ③ ドイツ人がウラル山脈以東への東方植民をおこなった。
- ④ イベリア半島における国土回復運動(レコンキスタ)が、コルドバの陥落で終了した。

問2 下線部**b**に関連して、破門された国王が教皇に謝罪した「カノッサの屈辱」と、叙任権闘争を終息させた「ヴォルムス協約」の時期は、それぞれ次の年表に示した **ア** ~ **エ** のうちのどれか。組み合わせとして正しいものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。

10

ア

1095年 クレルモン宗教会議で十字軍の派遣が決定する。

イ

1149年 第2回十字軍が敗北する。

ウ

1204年 第4回十字軍の結果、ラテン帝国が成立する。

エ

- ① カノッサの屈辱－**ア** ヴォルムス協約－**イ**
- ② カノッサの屈辱－**ア** ヴォルムス協約－**ウ**
- ③ カノッサの屈辱－**ア** ヴォルムス協約－**エ**
- ④ カノッサの屈辱－**イ** ヴォルムス協約－**ウ**
- ⑤ カノッサの屈辱－**イ** ヴォルムス協約－**エ**
- ⑥ カノッサの屈辱－**ウ** ヴォルムス協約－**エ**

問3 下線部**c**に関連して、この時期のヨーロッパの貿易や、都市で組織されたギルドについて述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

11

- ① イタリア諸都市は、東方（レヴァント）貿易によってアジアから香辛料や絹などを輸入した。
- ② 北ドイツ諸都市は、海産物・木材・穀物などの生活必需品を取引した。
- ③ 各都市で組織されたギルドは、商工業者の自由な経済活動を保証するための組合であった。
- ④ 市政を独占する商人ギルドに対抗して、手工業者は同職ギルド（ツンフト）を組織した。

問4 下線部dについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 聖職者・貴族・平民の代表で構成されていた。
- ② フィリップ4世が、教皇グレゴリウス7世と対立した際に初めて招集した。
- ③ ルイ13世の時、王権強化のために招集は停止された。
- ④ 休止状態が長年続いたが、フランス革命直前に1度のみ召集された。

B 「商業ルネサンス」とも呼ばれる交易の復興により、ヨーロッパ各地に都市が形成され、商工業者などの市民階級が経済的に成長し始めた。このような社会変化は、中世ヨーロッパ文化の展開にも大きな影響を及ぼしている。

例えば、教会建築は11世紀まではロマネスク様式が主流だったが、12世紀になるとより荘厳なゴシック様式へと発展し、それは建築技術の進歩のみならず、^{e)} 繁栄する商人の経済力も背景となっていた。諸都市は競いあうようにこの様式の大聖堂を建設し、都市の誇りの象徴とした。

中世の大学も、当初は教会や修道院に属する教育機関であったものが、様々な社会的・政治的变化によって発展したものと言える。叙任権闘争のさなか、教皇が自らの主張の正当性をローマ法に求めてその研究を奨励したこともあり、11世紀末には最古の大学の一つとして知られる **オ** 大学が設立された。また、教会や国家の統治機構が発展する中で、実務的な専門職の育成の必要も高まり、**カ** 大学も設立された。この大学では、十字軍や交易などを通じて流入したイスラーム医学の研究が行われ、12世紀に西欧医学教育の中心になった。このように、大学の発展は12世紀ルネサンスの一つの動きとも言える。

教会・修道院・大学などの知の中枢機関では、各地の知識人の共通語としてラテン語が使われていた。一方文学では、ラテン語を理解しない貴族・一般民衆など、より広い層に物語を届ける必要もあり、^{g)} 11世紀頃から口語（俗語）も用いられるようになった。中世の文学は、当初は語り部によって語られることが多く、聴衆が理解できる各地域の口語で語られたのである。やがてフランス語・ドイツ語・英語などの国民語の成立が進むとともに、自国の歴史や英雄を自国語で文章につづり、文化的自立・誇りが表現されていった。

問5 下線部 e に関連して、次にあげた写真のうち、ゴシック様式の建築として正しいものを、①～④のうちから一つ選べ。

13

①



②



③



④



問6 文章中の空欄 **オ** と **カ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

14

- | | | |
|---|---------|---------|
| ① | オーパリ | カーサレルノ |
| ② | オーサレルノ | カーパリ |
| ③ | オーパリ | カーボローニャ |
| ④ | オーボローニャ | カーパリ |
| ⑤ | オーサレルノ | カーボローニャ |
| ⑥ | オーボローニャ | カーサレルノ |

問7 下線部 f に関連して、12～13世紀のヨーロッパの文化人や文化事業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① アルクインなどの学者が、宮廷学校の運営や、ラテン語による古典文化の復興運動をおこなった。
- ② イベリア半島のトレドやシチリア島のパレルモは、イスラーム世界で研究されていたアラビア語の学術書をラテン語に翻訳する活動の中心となった。
- ③ キリスト教信仰を論理的に体系化することを目指したスコラ学は、アリストテレス哲学の影響を受けたアンセルムスが大成した。
- ④ フランシス＝ベーコンは、イスラーム科学の影響を受けて実験や観察を重視し、近代科学の先駆者となった。

問8 下線部 g に関連して、中世ヨーロッパの文学について述べた次の文章中の空欄 キ ～ ケ に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 16

『アーサー王物語』は、グレート＝ブリテン島にアングロ＝サクソン人が侵入する以前から居住していた キ 系ブリトン人の伝説的英雄が活躍する騎士道物語である。『ローランの歌』は、イベリア半島におけるカール大帝軍の ク 討伐が題材となっている。『ニーベルンゲンの歌』は、北欧神話やブルグンド人の歴史が題材の英雄叙事詩であり、フン人の王である ケ も登場している。

- ① キーケルト クーマジヤール人 ケーアルフレッド
- ② キーケルト クーマジヤール人 ケーアッティラ
- ③ キーケルト クーイスラーム教徒 ケーアルフレッド
- ④ キーケルト クーイスラーム教徒 ケーアッティラ
- ⑤ キー斯拉ヴ クーマジヤール人 ケーアルフレッド
- ⑥ キー斯拉ヴ クーマジヤール人 ケーアッティラ
- ⑦ キー斯拉ヴ クーイスラーム教徒 ケーアルフレッド
- ⑧ キー斯拉ヴ クーイスラーム教徒 ケーアッティラ

第3問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 14世紀初め頃のアナトリア西部で、トルコ系遊牧部族長のオスマンによって、のちのオスマン帝国の基礎が築かれた。その後のスルタンは、バルカン半島にまで領域を拡大し、ヨーロッパ諸国に脅威を与えていった。

一方、中央アジアのソグディアナ^{a)}では、トルコ化したモンゴル貴族出身のティムールが1370年にティムール朝を建てていた。ティムールは、モンゴル帝国の再興を目指して、大規模な征服戦争を推し進めた。イル＝ハン国滅亡後のイラン・イラクに支配領域を広げ、南ロシアのキプチャク＝ハン国(ジョチ＝ウルス)に侵入して都のサライを破壊するなど打撃を与えた。また、インドにも侵攻し、デリー^{b)}を破壊・略奪した。

広大な帝国を築いたティムールと膨張著しいオスマン帝国は、1402年のアンカラの戦いで衝突した。戦いはティムールが大勝し、オスマン皇帝 **ア** は捕虜となって、その後、死亡した。

勝利したティムールは短期間アナトリアを属領としたが、バルカン半島へは進出せず、その後は東方への遠征を画策した。1404年、ティムールは **イ** への遠征に赴いたが、翌年中央アジアのオトラルで病没した。オスマン帝国^{c)}は、敗北後の約10年間は空位時代が続いたが、その後の後継者が国力を回復させていき、バルカン半島・アナトリアにまたがる中央集権的な支配を確立した。16世紀になると、イランに成立したサファヴィー朝と争いながら領土を拡大し、地中海世界を舞台に強国への道を進んでいった。

問1 下線部aに関連して、この地域の歴史について述べた次の文IとIIの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

I ティグリス川とユーフラテス川に挟まれた地域である。

II この地域を拠点としたソグド人は、広く隊商交易を行い、唐代の中国にも進出した。

① I - 正 II - 正

② I - 正 II - 誤

③ I - 誤 II - 正

④ I - 誤 II - 誤

B 神秘主義教団の教主であったイスマーイールは、トルコ系遊牧民のキジルバーシュの支持を得て有力となり、ティムール朝の弱体化に乗じて、その版図であったイランにサファヴィー朝を建てた。イスマーイールは、ペルシア語で王を意味する **ウ** の称号を採用し、 **エ** を国教として隣接のオスマン帝国との抗争を展開した。1514年には、イスマーイールのサファヴィー軍が、オスマン帝国軍とチャルディラーンの戦いで衝突したが、鉄砲や大砲などの火器を使用したオスマン軍に敗北した。しかしその後、第5代の王^{d)}アッバース1世は、中央集権的体制を確立し、イラン系住民からなる銃兵隊・砲兵隊を組織するなどの軍政改革を行い、オスマン帝国からイラクを奪回して王朝の最盛期を築いた。

ティムール朝滅亡後、ティムールの子孫であったバーブルは、王朝の再興を目指してウズベク人勢力と争った。しかし、バーブルは敗北し、拠点をアフガニスタンのカーブルに移し、そこからより肥沃な北インドの地を目指すようになった。バーブルはチャルディラーンの戦いの情報から、自軍に鉄砲や大砲を導入し、1526年のパーニーパットの戦いでロディー朝を破り、ムガル帝国の基礎を築いた。

しかし、第2代の君主フマーユーンはアフガン勢力に敗北し、一時期イランのサファヴィー朝に亡命することを余儀なくされた。その折に、フマーユーンはサファヴィー朝の宮廷様式や官僚制度などを学び、インドへの^{f)}帰還の際にはペルシア語詩人などの文化人も同行させた。その結果、ムガル帝国の公用語として正式にペルシア語も定着した。

問5 文章中の空欄 **ウ** と **エ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① **ウ**－スルタン **エ**－スンナ派
- ② **ウ**－スルタン **エ**－シーア派
- ③ **ウ**－シャー **エ**－スンナ派
- ④ **ウ**－シャー **エ**－シーア派

問6 下線部dに関連して、火薬や火器の歴史について述べた次の文章中の空欄

～ に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

22

火薬は中国で初めてつくられ、唐代には軍事転用が始まったと言われている。異民族からの圧迫が続いた宋では、 の王朝である金との戦いで、火薬を利用した武器が使用されている。 統治期の元が日本遠征をした際には、火薬を爆発させて火玉を飛ばす武器「てつほう」が使用された。明代には、暦の改訂事業に参加したことで知られるイエズス会宣教師の から学んだ大砲を用いて、 のヌルハチ軍の侵攻に対抗した。

- ① - キタイ (契丹) - クビライ (フビライ)
 - モンテ = コルヴィノ
- ② - キタイ (契丹) - オゴデイ (オゴタイ)
 - モンテ = コルヴィノ
- ③ - キタイ (契丹) - クビライ (フビライ)
 - アダム = シャール
- ④ - キタイ (契丹) - オゴデイ (オゴタイ)
 - アダム = シャール
- ⑤ - 女真 - クビライ (フビライ)
 - モンテ = コルヴィノ
- ⑥ - 女真 - オゴデイ (オゴタイ)
 - モンテ = コルヴィノ
- ⑦ - 女真 - クビライ (フビライ)
 - アダム = シャール
- ⑧ - 女真 - オゴデイ (オゴタイ)
 - アダム = シャール

問7 下線部 e について述べた次の文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

23

I イスファハーンに遷都し、「世界の半分」とうたわれるほどの繁栄を実現した。

II 精密なアラベスクが描かれた青タイルで装飾された「岩のドーム」を建設した。

① I - 正 II - 正

② I - 正 II - 誤

③ I - 誤 II - 正

④ I - 誤 II - 誤

問8 下線部 f に関連して、イラン（ペルシア）の影響を受けたムガル帝国の文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

① イラン出身の画家が招かれ、細密画などの装飾写本が生み出された。

② 公用語のペルシア語と地方語が融合したウルドゥー語が生まれた。

③ 宰相ニザーム＝アルムルクがペルシア語で『統治の書』を著した。

④ イランなどの諸外国から多くの職人を集めてタージ＝マハルを建設した。

第4問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 17世紀、イギリスではインド産の綿布が東インド会社によって輸入され人気を博していた。しかし、毛織物業者を脅かすことになったため、両者間、さらに国民を巻き込んだ論争が生じた。この中で1700年にはインド産綿織物の輸入が禁止され、1720年には使用も禁止されることとなった。このように当時のイギリス政府がインド産綿布の輸入妨害をしたことによって、綿布のイギリス国内生産の素地ができた。

1733年、ジョン=ケイによって発明された飛び杼(梭)は、毛織物業では利用されなかったが、新興の綿織物業では早い段階から実用化された。そのため、すぐに糸不足が生じ、紡績機の発明が相次ぐこととなった。このようにしてイギリスで始まり本格化した産業革命は、単に産業部門だけの変革でなく、大西洋兩岸のヨーロッパ大陸とアメリカ大陸^{a)}での一連の変革運動へと相互に影響しあい展開してゆくこととなった。

ヨーロッパで生じた七年戦争は、北アメリカ大陸における **ア** と並行して争われた。その結果イギリスが勝利して、**イ** で北米大陸に広大な植民地を獲得したことが産業革命、アメリカ独立革命勃発への要因となった。アメリカ独立革命はヨーロッパにおけるフランス革命^{b)}の発生に大きく影響し、フランス革命とそれに続くナポレオン戦争は、**ウ** など1810年頃から20年代にかけて達成されたラテンアメリカ諸国の独立へと大いに影響した。このような、18世紀半ばから19世紀前半^{c)}にかけて生じた一連の変革運動を環大西洋革命という。

問1 下線部aに関連して述べた次の文IとIIの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

- I カートライトは力織機^{りきしよつき}を発明した。
II ニューコメンによって蒸気船が実用化された。

- ① I - 正 II - 正 ② I - 正 II - 誤
③ I - 誤 II - 正 ④ I - 誤 II - 誤

問2 文章中の空欄 **ア** ~ **ウ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①~⑧のうちから一つ選べ。

26

- | | | |
|---|---------------------|-------------|
| ① | アー フレンチ = インディアン 戦争 | イー ユトレヒト 条約 |
| | ウー アルゼンチン | |
| ② | アー フレンチ = インディアン 戦争 | イー ユトレヒト 条約 |
| | ウー キューバ | |
| ③ | アー フレンチ = インディアン 戦争 | イー パリ 条約 |
| | ウー アルゼンチン | |
| ④ | アー フレンチ = インディアン 戦争 | イー パリ 条約 |
| | ウー キューバ | |
| ⑤ | アー アメリカ = イギリス 戦争 | イー ユトレヒト 条約 |
| | ウー アルゼンチン | |
| ⑥ | アー アメリカ = イギリス 戦争 | イー ユトレヒト 条約 |
| | ウー キューバ | |
| ⑦ | アー アメリカ = イギリス 戦争 | イー パリ 条約 |
| | ウー アルゼンチン | |
| ⑧ | アー アメリカ = イギリス 戦争 | イー パリ 条約 |
| | ウー キューバ | |

問3 下線部 **b** について述べた文として誤っているものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

27

- ① バスティーユ牢獄を市民が襲撃したことが発端となった。
- ② 国民議会の下で行われた封建的特権の廃止により、賦役など農民の負担が廃止された。
- ③ 立法議会の下で、オーストリアへの宣戦布告が行われた。
- ④ 国民公会の下でのクーデタで、ナポレオンが権力を握った。

問4 下線部cに関連して、この時期の世界各地における出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

- Ⅰ ベトナムで阮朝^{げん}が成立した。
- Ⅱ マルクスとエンゲルスが『共産党宣言』を発表した。
- Ⅲ ラクスマンが根室に来航した。

- ① Ⅰ → Ⅱ → Ⅲ
- ② Ⅰ → Ⅲ → Ⅱ
- ③ Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ
- ④ Ⅱ → Ⅲ → Ⅰ
- ⑤ Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ
- ⑥ Ⅲ → Ⅱ → Ⅰ

B ウィーン体制下では勢力均衡の原則の下、神聖同盟や五国同盟によって国際的な安定が求められた。一方、フランス革命やナポレオン戦争の影響もあって、19世紀に入るとオスマン帝国領内のギリシア人やスラヴ人、アラブ人やエジプトなどの民族運動によって帝国の動揺はより大きくなった。これに、東地中海に野心を持つ列強が介入し、不凍港を求めて南下を進めるロシアと、それを阻止したいイギリス、フランス、オーストリアの対立を軸に一連の衝突が生じた。

オスマン帝国支配下のギリシアでは、独立運動が起こり、これが徹底的に弾圧された。こうして1821年ギリシア独立戦争が起こったが、開戦当初は傍観的な態度をとっていたイギリス、フランス、ロシアが、26年にギリシア側に加わり独立は達成された。エジプトのムハンマド＝アリーはギリシア独立戦争に際し、オスマン帝国を支援したが十分な見返りを得られなかったため、シリアを要求してエジプト＝トルコ戦争が起こった。二次にわたった戦争の結果、ムハンマド＝アリーはシリアを得られなかったものの、エジプト総督の世襲権を得た。ここまでの一連の戦争の中でロシアは一時南下を成功させたが、結局ボスフォラス・ダーダネルス両海峡は中立化され、ロシアの南下政策は挫折した。その後、ロシアはバルカン半島におけるギリシア正教徒保護を名目にクリミア戦争を起こしたが、敗北し南下政策は再び挫折した。1877年に起こったロシア＝トルコ戦争（露土戦争）では、ロシアは勝利し、78年に締結された **Ⅰ** 条約で一時南下を成功させるが、この条約は同年開催された国際会議で破棄され、結果ロシアの地中海方面への南下は失敗に終わった。

問5 下線部 d に関連して述べた文として、波線部が誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① オーストリアやプロイセンは、ドイツ連邦の構成国となった。
- ② ポーランド国王は、ロシア皇帝が兼ねることとなった。
- ③ ケープ植民地の領有権は、オランダからイギリスに移った。
- ④ オランダは、連邦制の共和国となった。

問6 下線部 e に関連して、ウィーン会議中にこの同盟を提唱し成立させた人物として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① アレクサンドル1世 ② タレーラン
③ メッテルニヒ ④ シャルル10世

問7 下線部 f に関連して述べた次の文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31

I フランスの画家ドラクロワは、この戦争を題材に「民衆を導く自由の女神」を描いた。

II イギリスの詩人チョーサーは、この戦争に参加した。

- ① I - 正 II - 正 ② I - 正 II - 誤
③ I - 誤 II - 正 ④ I - 誤 II - 誤

問8 文章中の空欄 **工** に入る語と、その地図上の地点を示す $x \cdot y$ との組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32



- | | | | |
|---|----------|-------------------|--------------|
| ① | 工 | に入る語 - サン = ステファノ | 地図上の地点 - x |
| ② | 工 | に入る語 - サン = ステファノ | 地図上の地点 - y |
| ③ | 工 | に入る語 - キャフタ | 地図上の地点 - x |
| ④ | 工 | に入る語 - キャフタ | 地図上の地点 - y |

第5問 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

A 1870年代以降、第二次産業革命の段階に入った列強は、市場・原料供給地・余剰資本の投下先を求めて海外進出を行った。この時期には、それらの国々の国内では独占が進行した。対外的には、太平洋地域、中国、^{a)}アフリカの分割が行われた。この状況の下で、列強各国は、同盟・協商関係を結んでいった。^{b)}

ドイツへの復讐心が高まっていた第三共和政下のフランスは、ブーランジェ事件やドレフュス事件が起これり動揺した。国際的にはビスマルクの外交手腕によつて^{c)}孤立していたが、ドイツ国内でヴィルヘルム2世が親政を開始すると、独露再保障条約が消滅し、その結果、露仏同盟が結ばれ、国際的孤立状態は解消された。ドイツやアメリカの台頭で相対的に力を落としたイギリスは、1902年日英同盟の成立で「光栄ある孤立」を放棄し、さらにフランスとアフリカでの利害を調整して英仏協商を結んだ。一方、長年にわたり良好な関係にあったドイツとは、ヴィルヘルム2世がバグダード鉄道の敷設権を獲得し、中東地域への進出を図ると、次第に対立が深まった。またイギリスは、日露戦争でロシアが敗北し、その脅威が大きく低下すると、イランにおける利害をロシアと調整して **ア** 年英露協商を結んだ。その後、**イ** を巡るドイツ、フランスの対立ではフランスを支持したため、1912年 **イ** はフランスが保護国化することとなった。

これらの同盟関係、協商関係そして利害対立は結局解消されず、1914年7月第一次世界大戦が勃発した。

問1 下線部aに関連して述べた次の文IとIIの正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33

- I 民主党のマッキンリー大統領は、「新しい自由」を掲げて反トラスト法を強化した。
- II 銀行資本と産業資本が融合した、金融資本が形成された。

- ① I - 正 II - 正 ② I - 正 II - 誤
③ I - 誤 II - 正 ④ I - 誤 II - 誤

問2 下線部**b**について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① アフリカ南西岸のアンゴラは、ポルトガルが勢力圏とした。
- ② 中国の膠州湾^{こうしゅうわん}は、ドイツが租借した。
- ③ アメリカ＝スペイン戦争中、アメリカ合衆国はハワイを併合した。
- ④ イタリアは、アドワの戦いでエチオピアに勝利した。

問3 下線部**c**に関連して、この事件に際して、あるフランス自然主義文学を代表する作家は、救済運動を展開し、その結果ドレフュス大尉は無罪となった。このドレフュス擁護の運動を展開した人物の名と、その人物の代表的な作品の名称の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① ゾラ－『居酒屋』
- ② スタンダール－『居酒屋』
- ③ ゾラ－『赤と黒』
- ④ スタンダール－『赤と黒』

問4 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入る数字と語の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

36

- ① **ア**－1904 **イ**－チュニジア
- ② **ア**－1904 **イ**－モロッコ
- ③ **ア**－1907 **イ**－チュニジア
- ④ **ア**－1907 **イ**－モロッコ

B 世界恐慌が発生すると、アメリカはスムート＝ホーリー法を制定し、多くの輸入品に高関税を課した。これにオランダ、ベルギー、フランス、スペイン、イギリスは直ちに対抗した。このようにして世界貿易が停滞し世界恐慌はさらに悪化することになった。また、これをきっかけに世界経済のブロック化が進行した。

有力な「持てる国」は、本国と植民地、同盟国による自給自足的経済圏を形成し、その域内では特惠関税、域外には高関税を課した。「持てる国」が、そのような行動をとる中、「持たざる国」は、自らも同様の経済圏をつくるべく海外進出を開始する。こうした動きが第二次世界大戦勃発につながっていった。

人類史上最大の惨禍をもたらした第二次世界大戦が終わると、その反省、すなわち「極端な保護貿易（高関税）が日本・ドイツ・イタリアを経済的に追い詰めて戦争になった」という立場で、自由で公平な貿易こそ平和のために必要不可欠との考えから、1947年 GATT（関税と貿易に関する一般協定）が成立し、貿易の自由化、関税の軽減に関する多角交渉が行われることとなった。1971年にはドル＝ショックが起こり、続いて2度のオイル＝ショック、その後も日本のバブル崩壊などを経験しながらも、世界中の多くの国、地域が発展し、世界経済が全体的に底上げされると、1995年 WTO（世界貿易機関）が設立され、まもなく GATT は解消された。

問5 下線部 d に関連して述べた次の文章中の空欄 **ウ** ～ **オ** に入る語の組み合わせとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **37**

イギリスは1931年に **ウ** を発布して、連邦体制を固めると、翌年 **エ** でイギリス連邦経済会議を開催しスターリング＝ブロックを形成した。これはその通貨にちなんで、 **オ** =ブロックともいわれる。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|---------------|
| ① ウ －ウェストミンスター憲章 | エ －カルカット | オ －フラン |
| ② ウ －ウェストミンスター憲章 | エ －カルカット | オ －ポンド |
| ③ ウ －ウェストミンスター憲章 | エ －オタワ | オ －フラン |
| ④ ウ －ウェストミンスター憲章 | エ －オタワ | オ －ポンド |
| ⑤ ウ －人民憲章 | エ －カルカット | オ －フラン |
| ⑥ ウ －人民憲章 | エ －カルカット | オ －ポンド |
| ⑦ ウ －人民憲章 | エ －オタワ | オ －フラン |
| ⑧ ウ －人民憲章 | エ －オタワ | オ －ポンド |

問6 下線部 e に関連して述べた次の文 I と II の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

38

I ドイツは、ザール地方を武力併合した。

II 日本は盧溝橋^{ろこうきょう}事件を起こし、満洲への進出を開始した。

① I - 正 II - 正

② I - 正 II - 誤

③ I - 誤 II - 正

④ I - 誤 II - 誤

問7 下線部 f に関連して、この時期、連合国は各地で戦後の世界を見据えての会談を行った。大西洋上会談が行われ、大西洋憲章が発表された時期として正しいものを、次の年表に示した①～④のうちから一つ選べ。

39

①

1941年12月 日本がハワイの真珠湾^{しんじゅわん}を攻撃する。

②

1943年9月 イタリア新政府が連合国に無条件降伏を申し出る。

③

1945年3月 東京大空襲で約10万人が犠牲となる。

④

問8 下線部 g に関連して、これ以前に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

40

① 欧州単一通貨ユーロの一般流通が始まった。

② リーマン＝ショックが起こった。

③ アジア太平洋経済協力 (APEC) 会議の第一回が開かれた。

④ OAU が発展・改組して AU (アフリカ連合) が成立した。

【解答】

第1問	解答番号	解答	第2問	解答番号	解答	第3問	解答番号	解答
問1	1	②	問1	9	②	問1	17	③
問2	2	④	問2	10	①	問2	18	④
問3	3	④	問3	11	③	問3	19	①
問4	4	②	問4	12	②	問4	20	⑥
問5	5	①	問5	13	③	問5	21	④
問6	6	③	問6	14	⑥	問6	22	⑦
問7	7	④	問7	15	②	問7	23	②
問8	8	③	問8	16	④	問8	24	③

第4問	解答番号	解答	第5問	解答番号	解答
問1	25	②	問1	33	③
問2	26	③	問2	34	④
問3	27	④	問3	35	①
問4	28	⑤	問4	36	④
問5	29	④	問5	37	④
問6	30	①	問6	38	④
問7	31	④	問7	39	①
問8	32	①	問8	40	③